

第60回大会

計量国語学会

日時 2016年 10月 8日【土】10:30～17:50

場所

日本大学

文理学部オーバル・ホール
〒156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40



参加費

1000円

今回より、予稿集代でなく、参加費をお支払いいただくことになりました。

研究発表1（10:35-12:05）

- | | |
|---|-----------|
| 1. 宇野浩二の文体変化の時期に関する計量分析 | 劉雪琴・金明哲 |
| 2. 太宰治の文体の計量的分析―助詞と使役、受身、授受構文の関連を中心として― | 尾城奈緒子・金明哲 |
| 3. 計量的な手法による古典文学作品の著者識別について―源氏物語及びその補作を用いて― | 土山玄 |

研究発表2（13:05-14:35）

- | | |
|-----------------------------|-------|
| 4. 漢字の頻度分布についての試論 | 菅野 倫匡 |
| 5. 数理漢文学への道(2)―線形と非線形のはざまで― | 島野達雄 |
| 6. 文の長さの統計モデル | 石井正彦 |

研究発表3（14:45-16:15）

- | | |
|--------------------------------------|---------------------|
| 7. 学術的文章作成時に留意すべき「書き言葉的」「話し言葉的」な語の分類 | 柏野和佳子 |
| 8. ネットワーク分析による自由想起された感情語の連関 ―性差を中心に― | 入江さやか・李鐘賛・余語真夫・金明哲 |
| 9. 2015 年全国方言意識Web 調査に基づく話者類型 | 田中ゆかり・前田忠彦・林直樹・相澤正夫 |

総会

（16:15～16:35）

招待講演（16:50～17:50）

Quantitative Linguistics in Europe: Principles of the Philosophy of Science as Applied to Linguistics

Reinhard Köhler

懇親会

18:00～20:00